

訃 報

—謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

山口 宏幸 殿(電気電子)

平成27年 1月29日逝去 54歳

加藤 鋭一 殿(建設)

平成27年 7月 5日逝去 83歳

■■■ 編集後記 ■■■

年々、気象変動による自然災害の発生が多くなっているように思います。昨年の豪雨災害の記憶がまだ新しい中、つい最近、台風接近による鬼怒川の堤防決壊、阿蘇山の噴火、チリ地震による津波の襲来などがありました。自然災害は人間の手で防ぐことはとても困難です。しかし、災害が発生するたびに、まさか川が氾濫するとは・・・、まさか裏山が崩壊するとは・・・、役場から避難勧告が出なかった・・・という言葉が報道されています。大変であったことが伝わってきます。

先日、市民の方々に札幌市の防災マップや技術士会の防災カードを配る機会がありました。説明しながらこれらの防災関連の品を配っていると、地盤情報や近年の自然災害に対して、住民の興味や関心が高まってきていることをとても感じました。

137号には、国内外の被災や復興の様子が紹介されていました。私たちは、技術を持っている技術士として、これからも能力の維持、更新を進めるとともに、災害に対する備えや直感的に危険性を察知する力を身につける必要があります。また、災害発生のメカニズムを住民の方々に理解していただき、被災が最小限になるような心構えを伝えていきたいと思えます。

(広報委員 佐藤厚子)